

長 産 建 発
平成20年10月14日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

長野原町長 高山 欣
(産 業 建 設 課)



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙により提出致します。

- 地方においては少子高齢化が進み、人口減少が進んでいる中で、集落の崩壊や産業活動の衰退などにより、活力が年々低下して来ている。地域間格差への対応や生活者重視の視点を踏まえ、地方の活性化や自立に必要な地域の基幹道路整備、高次医療施設への広域的アクセスを強化してほしい。
- 道路整備において、都市と地方を同じ指標、尺度で比較すれば当然都市部が優先されてしまう。経済効果ばかりでなく、地方が切捨てにならないようバランスのとれた対応を望む。
- 地方公共団体管理の橋梁などについても、耐震補強に関しては国策として進めるべきであり、地方の実情に即した補助制度の見直しや財源を確保してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

様式②
群馬県長野原町

○現状

本町の道路網は、東西に走る国道145号及び145号バイパス、南北に走る国道146号をはじめ国道144号、292号、406号の国道5路線と県道5路線、一級町道11路線及び二級町道15路線が主要幹線となって構成されている。又本町では渋川市と吾妻郡、長野県東御市を結ぶ上信自動車道の建設が進められており、広域的アクセスの一層の向上が期待されている。

○課題

本町ではこれまで関係機関と連携しながら主要幹線の道路基盤整備を進めて来たが、未整備区間が多く、安全で便利な道路網整備が求められているほか、上信自動車道にアクセスする道路の整備が課題となっている。

町発展の基盤となる上信自動車道の早期完成を促進するとともに、これを含めた高速交通体系へのアクセスの向上や利便性・安全性の一層の向上を見据え、国道道の整備を関係機関に要請していく。又、幹線道路網との連携や機能分担に配慮しながら町道網の整備を計画的、効率的に進めていく。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④
群馬県長野原町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上	上信自動車道の整備促進	本路線は吾妻地域の産業・観光・経済活性化のための動脈路としての役割とともに、災害時の緊急道路として真に必要な道路であり、早期実現が長野原町だけでなく吾妻郡全体の長年にわたる悲願となっている。	
・ 良好な生活空間 ・ 景観の形成	日本風景街道関連国道 1 4 6 号の整備	道路景観形成に資することにより、広域観光振興にも寄与する。	
・ 総合的な交通安全対策の強化	国道 1 4 4 号・1 4 5 号・1 4 6 号の歩道の整備	少子・高齢化社会に対応した子育て環境を整備することにより、安全安心な生活を確保することができる。	